

# 記者配布資料

令和6年(2023年)4月17日

所属名	所属長名	班長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県水産研究センター	のむら たろう 野村 太郎	しらき のぶひこ 白木 信彦	専門研究員 みよし ひろゆき 三好 博之	0837-26-0711
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、 首都圏			

## 1 件名 萩市松本川でシロウオの産卵状況を調査します

## 2 目的

萩市内を流れる阿武川の支流・松本川の下流では、毎年3月頃にシロウオが産卵のために遡上します。この時期に行われる「シロウオ漁」は春の風物詩であり、地元ではシロウオ祭りが開かれるなど、シロウオは地域にとって大切な資源となっています。

県水産研究センターでは、<sup>しろうお</sup>萩白魚組合(※)の要請を受け、昭和44年から毎年、同河川においてシロウオの産卵状況を調査しています。

### ※萩白魚組合

シロウオ漁を行う漁業者によって組織された任意団体。シロウオ資源の増大を図るため、漁場造成にも取り組んでいる。(代表者：<sup>やまむら</sup>山村氏、事務局：<sup>いまち</sup>井町氏、組合員数：7名)

## 3 調査概要

- 調査日時：令和6年4月24日(水) 午後1時から午後4時まで  
(予備日：4月25日(木) 同時刻)
- 調査場所：萩市松本川下流域(中津江橋から萩橋までの区間)
- 実施者：萩白魚組合、県水産研究センター
- 調査内容：  
川底の小石をシャベルで採取し、小石に産み付けられた卵の数量を調べます。

## 4 取材対応について

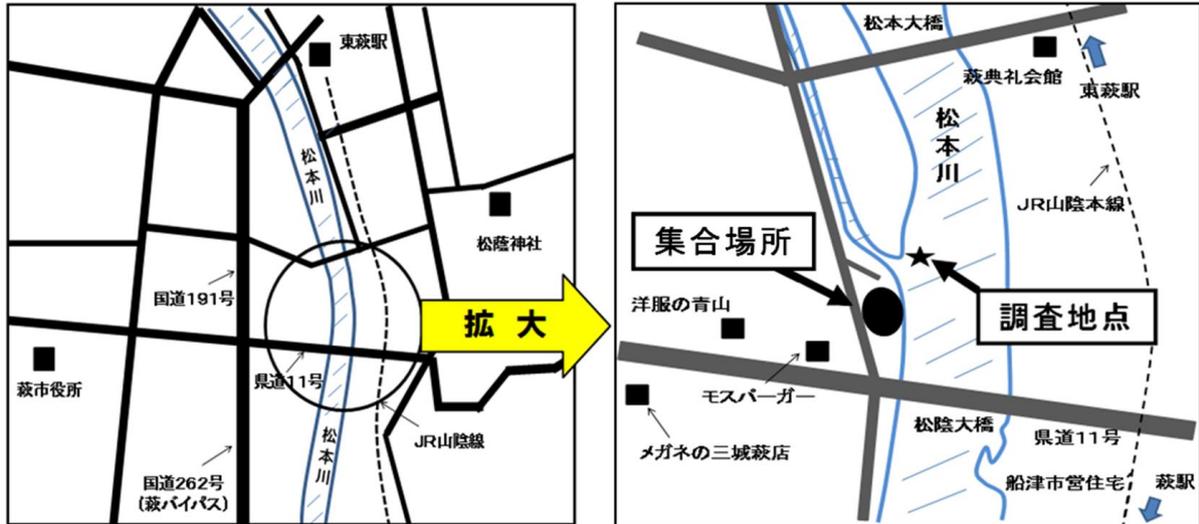
- 対応日時：調査当日 午後2時
- 集合場所：松陰大橋付近の駐車場【裏面地図参照】
- 注意点：
  - 調査に使用する小型船舶への乗船はできません。
  - 川に入って撮影される場合には胴長が必要となります。
  - 荒天、増水の場合は調査を延期します。調査当日の午前9時に判断しますので、事前にお問い合わせください。

## 5 問い合わせ先

県水産研究センター外海研究部 増殖加工グループ 担当：<sup>みよし</sup>三好・<sup>しらき</sup>白木  
電話：0837-26-0711

(裏面に続きます)

【地図】



【参考：シロウオについて】

- ・ シロウオは全長5cmほどの透明なハゼ科の魚類で、通常は海の沿岸域に生息します。
- ・ 産卵期（3～4月頃）になると河川に遡上し、下流域の石に卵を産み付けます。
- ・ 産卵後、メスは死にますが、オスは卵がふ化するまでの2～3週間、卵を保護してから死ぬと言われています。

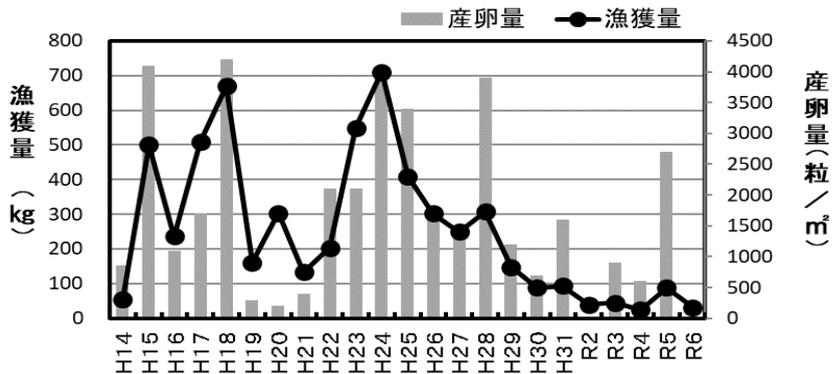


図1 萩市松本川におけるシロウオの漁獲量と産卵量の推移（漁獲量：萩白魚組合調べ、産卵量：県水産研究センター調べ）※R2はコロナ感染症対策のため産卵量調査は中止



図2 石に産み付けられたふ化直前の卵



図3 卵を保護していたシロウオの親魚